

平成 26 年度特定地域再生事業費補助金事業の概要書

【テーマ：②-イ】

1 事業名	創造農村推進事業 <small>そうぞうのうそんすいしんじぎょう</small>	
2 事業主体の名称	一般社団法人ノオト <small>いっばんしゃだんほうじんのおと</small>	
3 新規・継続	新規	
4 補助金事業の期間	平成 26 年 11 月 ～ 平成 27 年 2 月	
5 特定地域再生事業費補助金の種類	特定地域再生計画策定事業	
	特定地域再生計画推進事業	○
6 要望国費	15,000千円	
7 事業の概要	<p>篠山市では、平成 24 年度に、特定地域再生計画策定調査の採択を受け、「篠山市創造都市推進計画」を策定した。この計画では、人口減少局面における中山間地域の課題群（少子高齢化、耕作放棄地の増加、山林の荒廃、獣害、空き家の増加、農業の担い手不足、商店街の衰退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、伝統文化や伝統工芸の喪失など）に対して、総合的・創造的な解決策を処方する地域再生戦略「創造農村」を謳っている。</p> <p>この戦略は、①集落（自治会）や小学校区など「地域コミュニティを単位」として取り組む、②古民家、食文化、生活文化など地域に根ざした「地域資源を活用」する、③先人が残した技術や資産に新しい知恵を重ねて生業を創造する、という組立てになっている。</p> <p>本事業は、この戦略を踏まえ、①集落丸山、篠山城下町、日置の里、宿場町・福住、今田エコタウン等において、②空き家となった古民家等の歴史的建築物群を宿泊施設、レストラン、工房等として面的に再生・活用することで、③建築、食と農、工芸、観光等に関する内発型産業と創造人材の育成を進めるものである。</p>	

平成 26 年度特定地域再生構想の内容説明書

【テーマ：②-イ】

1 特定地域再生構想の名称																																									
ささやましそうぞうとしすいしんけいかく 篠山市創造都市推進計画																																									
2 事業主体の名称																																									
いっばんしゃだんほうじんのとおと 一般社団法人ノオト																																									
3 地域の現状・取組の経緯・取組の位置づけ																																									
3-1 地域の背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> ・篠山市は、兵庫県東部の中山間地（丹波地域）に位置する人口約 4 万 3 千人の都市である。黒大豆、山の芋、松茸、栗などの特産農産品やポタン鍋、盆踊りのデカンショ祭や日本六古窯の丹波焼で知られている。 ・市の中心には国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている篠山城址と城下町の町並みがあり、京文化の影響を受けた曳山、能などの文化芸術も色濃く残っている。 ・篠山市は、平成の大合併の第 1 号自治体として、1999 年に 4 町が合併して誕生。これを機に社会基盤等の整備が進展したが、財政が逼迫し、現在は厳しい行財政改革が進められている。 ・2012 実質公債費比率：22.4（県下 1 位、全国 4 位） ・また、他の農村地域と同様に、人口減少、少子高齢化、耕作放棄地の増加、山林の荒廃、獣害、空き家の増加、農業の担い手不足、商店街の衰退、雇用の確保、生活交通サービスの確保等の地域課題を抱えている。 ・今回の事業対象地区（下表）は、合併前の旧町の中心地や谷奥の集落であり、上述のような「限界化」が特に進行している地区である。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>区域</th> <th>H15 人口</th> <th>H25 人口</th> <th>H25 高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集落丸山</td> <td>集落</td> <td>19 人</td> <td>24 人</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>篠山城下町</td> <td>旧小学校区</td> <td>4,025 人</td> <td>3,554 人</td> <td>34.7%</td> </tr> <tr> <td>日置の里</td> <td>自治会</td> <td>297 人</td> <td>248 人</td> <td>30.7%</td> </tr> <tr> <td>宿場町・福住</td> <td>旧小学校区</td> <td>1,746 人</td> <td>1,500 人</td> <td>39.9%</td> </tr> <tr> <td>今田エコランド</td> <td>旧小学校区</td> <td>4,248 人</td> <td>3,709 人</td> <td>26.5%</td> </tr> <tr> <td>原</td> <td>集落</td> <td>26 人</td> <td>18 人</td> <td>38.9%</td> </tr> <tr> <td>篠山市全体</td> <td>-</td> <td>47,470 人</td> <td>43,611 人</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	区域	H15 人口	H25 人口	H25 高齢化率	集落丸山	集落	19 人	24 人	31.8%	篠山城下町	旧小学校区	4,025 人	3,554 人	34.7%	日置の里	自治会	297 人	248 人	30.7%	宿場町・福住	旧小学校区	1,746 人	1,500 人	39.9%	今田エコランド	旧小学校区	4,248 人	3,709 人	26.5%	原	集落	26 人	18 人	38.9%	篠山市全体	-	47,470 人	43,611 人	30.0%
地区名	区域	H15 人口	H25 人口	H25 高齢化率																																					
集落丸山	集落	19 人	24 人	31.8%																																					
篠山城下町	旧小学校区	4,025 人	3,554 人	34.7%																																					
日置の里	自治会	297 人	248 人	30.7%																																					
宿場町・福住	旧小学校区	1,746 人	1,500 人	39.9%																																					
今田エコランド	旧小学校区	4,248 人	3,709 人	26.5%																																					
原	集落	26 人	18 人	38.9%																																					
篠山市全体	-	47,470 人	43,611 人	30.0%																																					

3-2 取組の
経緯・位置
づけ

- ・ 上述のような厳しい財政状況、限界化の進行のなかにあるが、丹波篠山築城400年祭（2009）を契機として、篠山市は市民主体のまちづくりに取り組んできた。
- ・ また、篠山市では、篠山市歴史文化基本構想（2011策定）、篠山市景観計画（2011策定）の策定等を通じて、町並み、祭、特産農産物、伝統工芸など豊かな歴史文化資源を活かしたまちづくりに取り組み、都市景観大賞（2014国土交通省）を受賞した。
- ・ この間、当社では、市内各地で、空き家（古民家等）を活用したまちづくりの中間支援活動を実施してきた。特に、丸山地区では、集落NPOによるコミュニティビジネス（オーベルジュ運営）が奏功し、人口増、耕作放棄地の解消、里山再生等の効果も発現している。

集落丸山における空き家活用実績

店舗名	業種等	所有者	中間支援
集落丸山	宿泊棟(明かり)	個人(使用貸借)	NOTE
	宿泊棟(ほの穂)	個人(使用貸借)	
	フレンチレストラン「ひわの蔵」	個人(使用貸借)	
	宿泊棟⇒住居(Uターン)	個人(使用貸借)	

篠山城下町における空き家活用実績

店舗名	業種等	所有者	中間支援
篠山ギャラリーKITA'S	伝統工芸ギャラリー	事業者(購入)	NOTE 町屋研
	カフェ		
SASA	食堂	事業者(購入)	NOTE
ナチュラルバックヤード	木工など	個人(サブリース)	NOTE
ふろく	陶芸ギャラリー	事業者(購入)	町屋研
	(離れ)		
西町ブリキ玩具製作所	昭和レトロ	個人(サブリース)	NOTE 町屋研
岩茶房丹波ことり	カフェ、器	個人(サブリース)	町屋研
旧あめや	ワインショップ	事業者(購入)	町屋研
	ガラス製品		
ハクトヤ	アンティーク	個人(サブリース)	NOTE
応需細工所	彫金・ジュエリー	個人(サブリース)	NOTE
ベジワン・フーズ	有機野菜・カフェ	個人(サブリース)	NOTE
(1期)toteyany	アートカフェ	個人(サブリース)	町屋研
(2期)ささやまな家	観光交流拠点	個人(サブリース)	NOTE

- ・ その他の4地区においても、平成21～25年度に、空き家を再生活用し、カフェ、ギャラリー、工房など10店舗の開業を実現している。
- ・ そして今回、地域再生計画（篠山市創造都市推進計画、2013）の策定、国家戦略特区による規制緩和（2014～）の実現を受け、当社としては、地域再生推進法人の指定を受けたうえで、これまで蓄積したノウハウを活かし、更なる創造的なまちづくりに取り組む考えである。

4 特定政策課題の内容及び課題解決に資する取組等

※ 本計画は、政策課題ごとに項目立てするのではなく、地域コミュニティを単位として「複数の政策課題を一体的に解決」する組立てとしています。

4-1 項目 集落丸山

4-1-1 具体的な政策課題の内容
人口減少、少子高齢化、空き家の増加、雇用の創出、耕作放棄地の増加、里山の荒廃、獣害、生活交通サービスの確保等の複合的な課題群

4-1-2 目標
◎ 平成 21 年度に丸山プロジェクトが始動。空き家活用によるオーベルジュ開業により、人口増、雇用創出、耕作放棄地減少など一定の効果が発現している。
◎ 平成 30 年度までに集落内の全ての空き家を再生・活用するとともに、更に子育て世代の U I ターンを受け入れる。
◎ 限界集落再生の先進モデル地区としての完成を目指す。

	これまでの実績	2018 目標
空き家	・全 12 戸のうち 6 戸が空き家であった。 ・2009 年に 3 戸を宿泊棟、レストランとして改修し、オーベルジュ「集落丸山」を開業	・残る3戸の活用 ・2012 年に用途廃止となった水道配水棟の活用 ・宿泊棟のほか特産加工所、販売所等を整備
世帯・人口	・改修 3 戸のうち 1 戸を 2011 年に所有者に返還 ※ 1 世帯 5 人が U ターン	・子育て世代 2 世帯 8 人程度の U I ターンを新たに受け入れ
雇用	・常勤 1 名、非常勤 10 名	・常勤 2 名、非常勤 15 名
耕作放棄地	・大幅に減少(若手農家の参入、都市住民の農園利用等)	・放棄地ゼロ
里山	・ボランティア活動グループが継続的に参入	・里山農園の整備(果樹、薬草、山菜等)
コミュニティ交通	・篠山市コミュニティバス(金曜日のみ、往復 3 便)	・送迎バスを運行(毎日)して、谷筋の交通サービスを改善
経営	・集落 NPO と当社が LLP を結成して共同経営(伴走)	・集落が独立で経営

4-1-3 具体的な政策課題の解決に資する解決策・取組
・丸山集落を対象として、空き家(古民家)の活用、6 次産業、着地型観光等の一体的な事業展開について中間支援を実施
※ 空き家の借上げ、資金調達、改修工事、事業者マッチング、コミュニティビジネスの起業と経営(企画、広報、総務、経理等)
※ 利用用途: 宿泊、レストラン、農産物加工所、特産販売 等

4-1-4 活用
事業

① 関係府省の支援措置を活用して実施する事業

■社会資本整備総合交付金

事業の概要	事業主体	一般社団法人ノオト
	事業費	10,000 千円(平成 26 年度)
	事業内容	空き家等を改修して、体験宿泊施設、交流施設、創作活動施設、文化施設等として活用
	実施期間	平成 26～30 年度
活用する支援措置の概要	所管府省の名称	国土交通省
	支援措置の名称	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)効果促進事業
	支援措置の期間	平成 26 年度～
	補助金等の額	6,660 千円(平成 26 年度)
	支援対象経費	取得費(用地費を除く)、空き家の改修費、所有者特定に要する経費

■地域づくり活動支援体制整備事業

事業の概要	事業主体	ポザーダ・ジャパン推進協議会 (篠山市ほか 3 市・信用金庫 2 社・民間企業 3 社・当社で構成、事務局は当社)
	事業費	3,500 千円(平成 26 年度)
	事業内容	歴史地区の再生に取り組む地域団体(自治会、NPO 等)に対する中間支援活動、広域観光圏(ホテルグループ)の形成
	実施期間	平成 26～30 年度
活用する支援措置の概要	所管府省の名称	国土交通省
	支援措置の名称	地域づくり活動支援体制整備事業費補助金
	支援措置の期間	平成 26 年 7 月～平成 27 年 3 月
	補助金等の額	3,430 千円
	支援対象経費	企画、販促、情報発信等の中間支援活動

■文化芸術創造都市推進事業

事業の概要	事業主体	一般社団法人ノオト
	事業費	約 10,000 千円/年
	事業内容	創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の運営、構成団体(自治体 36 団体、NPO 等 団体)に対する活動支援、情報発信等
	実施期間	平成 25 年度～
活用する支援措置の概要	所管府省の名称	文化庁
	支援措置の名称	文化芸術創造都市推進事業(委託)
	支援措置の期間	平成 26 年 7 月～
	補助金等の額	10,000 千円(平成 26 年度)
	支援対象経費	セミナー開催、調査研究、情報発信等

② 地域再生法に基づく支援措置を活用して実施する事業(例:地域再生基盤強化交付金、特定地域再生支援利子補給金等)

■特定地域再生支援利子補給金

(③に同じ)

③ 連動施策を活用した事業（例：特定地域再生事業費補助金等）

■特定地域再生計画推進事業

事業の概要	事業主体	一般社団法人ノオト
	事業費	1,200 千円(平成 26 年度)
	事業内容	集落丸山第2ステージ(宿泊棟、加工所、猪鹿猿共生研究所の整備等を想定)
	実施期間	平成 26 年度～30 年度
活用する支援措置の概要	所管府省の名称	内閣府
	支援措置の名称	特定地域再生事業費補助金
	支援措置の期間	平成 26 年度
	補助金等の額	600 千円(平成 26 年度)
	支援対象経費	建物調査費、応急修理費、事業計画策定費

◎連動の考え方と効果

- ・ 本事業は、集落や旧小学校区を単位として、（それぞれが小規模な事業ではあるが、）空き家活用、6次産業、着地型観光等の事業を一体的に展開し、ミクロなコミュニティ圏域をクリエイティブ・コアとして再生する。このようなクリエイティブ・コアを市内各地に配置することが地域全体の再生のエンジンになると考えている。
- ・ 具体的には、①に記載した「社会資本整備総合交付金」による効果促進事業と連動して、事前の建物調査と応急修理、事業計画策定、モデル物件の整備、ポザーダ（ホテルグループ）の運営体制の等を行う。
- ・ また、「地域づくり活動支援体制整備事業」「文化芸術創造都市推進事業」と連動して、こうした地域内外のクリエイティブ・コアをネットワーク化することで、内発型産業の創出、創造人材の育成、広域的なノウハウ移転等を図っていく。

④ 自治体等事業主体の単独事業

■マーケティング人材育成・ブランド力強化支援事業

事業の概要	事業主体	一般社団法人ノオト
	事業費	9,330 千円（平成 26 年度、兵庫県補助事業）
	事業内容	マーケティング教育、地域 ICT 教育、ブランド力強化研修（イベント、ツーリズムの企画開催等の実地研修）
	実施期間	平成 26 年度～

4-1-5 特定政策課題解決の寄与度

- ・ 限界集落再生の先進モデル地区として、人口減少、少子高齢化、空き家の増加、雇用の創出、耕作放棄地の増加、里山の荒廃、獣害、生活交通サービスの確保等の複合的な課題群をほぼ完全に解消する。

4-2 項目	篠山城下町 (Hotel Sasayama Premium)																
4-2-1 具体的な政策課題の内容	人口減少、少子高齢化、空き家・空き店舗の増加、商店街の衰退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、町並みの保全等の複合的な課題群																
4-2-2 目標	<p>◎ 平成 21 年度以降、空き家活用の中間支援活動（借上げ、改修、事業者マッチング等）を行い、カフェ、ギャラリー、工房など 12 店舗の開業を実現した。このなかには世界的なプロダクトデザイナー喜多俊之氏のギャラリーも含まれている。</p> <p>◎ こうした店舗を更に増やすとともに、国家戦略特区の「旅館業法の特例」を活用して、平成 30 年度までに、空き家（町家等）10 棟を宿泊施設として再生する。</p> <p>※ これにより、城下町を「ひとつのホテル」に見立てて、観光事業、ブライダル事業等を展開。起業者やスタッフとして子育て世代の U I ターンを受け入れ、地区の年齢バランスを改善していく。</p> <p>◎ 古民家等の歴史的建築物活用による歴史地区再生モデル「ポザーダ・ジャパン」としての完成を目指す。</p> <p>※ ポザーダ・ジャパン：「歴史的建築物」に宿泊し、地場の「食」を味わい、地場の「暮らし」を体感するツーリズム事業</p> <table border="1" data-bbox="438 1176 1359 1697"> <thead> <tr> <th></th> <th>これまでの実績</th> <th>2018 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き家</td> <td>・篠山市が所有する歴史文化施設6館(篠山城大書院など)の指定管理 ・空き家 14 棟を改修し、カフェ、ギャラリー、工房等 12 店舗の開業を支援 ・能舞台体験ワークショップ、ササヤマルシェなど文化イベントの開催</td> <td>・更に 10 店舗の開業 ・町家等 10 棟(一棟貸し)のホテル営業 ・神社(式)、大書院(披露宴)、カフェ(二次会)、町家等(宿泊)、工房(引出物)等の連携でブライダル事業を実施</td> </tr> <tr> <td>人口・雇用</td> <td>・店舗開業が移住定住につながっている。</td> <td>・子育て世代の起業者、ホテルスタッフを受け入れ</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ交通</td> <td>・路線バス(1路線)</td> <td>・城下町巡回バスを運行して、居住者の交通サービスも改善</td> </tr> <tr> <td>経営</td> <td>・各店舗を事業者が経営</td> <td>・ホテル運営体制の確立 ・既存店舗とも連携</td> </tr> </tbody> </table>			これまでの実績	2018 目標	空き家	・篠山市が所有する歴史文化施設6館(篠山城大書院など)の指定管理 ・空き家 14 棟を改修し、カフェ、ギャラリー、工房等 12 店舗の開業を支援 ・能舞台体験ワークショップ、ササヤマルシェなど文化イベントの開催	・更に 10 店舗の開業 ・町家等 10 棟(一棟貸し)のホテル営業 ・神社(式)、大書院(披露宴)、カフェ(二次会)、町家等(宿泊)、工房(引出物)等の連携でブライダル事業を実施	人口・雇用	・店舗開業が移住定住につながっている。	・子育て世代の起業者、ホテルスタッフを受け入れ	コミュニティ交通	・路線バス(1路線)	・城下町巡回バスを運行して、居住者の交通サービスも改善	経営	・各店舗を事業者が経営	・ホテル運営体制の確立 ・既存店舗とも連携
	これまでの実績	2018 目標															
空き家	・篠山市が所有する歴史文化施設6館(篠山城大書院など)の指定管理 ・空き家 14 棟を改修し、カフェ、ギャラリー、工房等 12 店舗の開業を支援 ・能舞台体験ワークショップ、ササヤマルシェなど文化イベントの開催	・更に 10 店舗の開業 ・町家等 10 棟(一棟貸し)のホテル営業 ・神社(式)、大書院(披露宴)、カフェ(二次会)、町家等(宿泊)、工房(引出物)等の連携でブライダル事業を実施															
人口・雇用	・店舗開業が移住定住につながっている。	・子育て世代の起業者、ホテルスタッフを受け入れ															
コミュニティ交通	・路線バス(1路線)	・城下町巡回バスを運行して、居住者の交通サービスも改善															
経営	・各店舗を事業者が経営	・ホテル運営体制の確立 ・既存店舗とも連携															
4-2-3 具体的な政策課題の解決に資する解決策・取組	<p>・ 篠山城下町を対象として、空き家（町家等）の活用、6次産業、着地型観光等の一体的な事業展開について中間支援を実施</p> <p>※ 空き家の借上げ、資金調達、改修工事、事業者マッチング、ホテル事業の立上げと経営（企画、広報、総務、経理等）</p> <p>※ 利用用途：宿泊、レストラン、カフェ、工房、特産販売 等</p>																

<p>4-2-4 活用事業</p>	<p>①②④：(4-1-4に同じ)</p> <p>③ 連動施策を活用した事業（例：特定地域再生事業費補助金等）</p> <p>■特定地域再生計画推進事業</p> <table border="1" data-bbox="461 409 1337 772"> <tr> <td rowspan="4">事業の概要</td> <td>事業主体</td> <td>一般社団法人ノオト</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>34,100千円(平成26年度)</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>関西圏国家戦略特区計画に位置づけたうえで、町家等を宿泊棟として順次整備</td> </tr> <tr> <td>実施期間</td> <td>平成26年度～30年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">活用する支援措置の概要</td> <td>所管府省の名称</td> <td>内閣府</td> </tr> <tr> <td>支援措置の名称</td> <td>特定地域再生事業費補助金</td> </tr> <tr> <td>支援措置の期間</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>補助金等の額</td> <td>12,000千円(平成26年度)</td> </tr> <tr> <td>支援対象経費</td> <td>Hotel Sasayama Premiumの運営体制構築費、モデル物件の開業費</td> </tr> </table> <p>◎連動の考え方と効果（4-1-4に同じ）</p>	事業の概要	事業主体	一般社団法人ノオト	事業費	34,100千円(平成26年度)	事業内容	関西圏国家戦略特区計画に位置づけたうえで、町家等を宿泊棟として順次整備	実施期間	平成26年度～30年度	活用する支援措置の概要	所管府省の名称	内閣府	支援措置の名称	特定地域再生事業費補助金	支援措置の期間	平成26年度	補助金等の額	12,000千円(平成26年度)	支援対象経費	Hotel Sasayama Premiumの運営体制構築費、モデル物件の開業費
事業の概要	事業主体		一般社団法人ノオト																		
	事業費		34,100千円(平成26年度)																		
	事業内容		関西圏国家戦略特区計画に位置づけたうえで、町家等を宿泊棟として順次整備																		
	実施期間	平成26年度～30年度																			
活用する支援措置の概要	所管府省の名称	内閣府																			
	支援措置の名称	特定地域再生事業費補助金																			
	支援措置の期間	平成26年度																			
	補助金等の額	12,000千円(平成26年度)																			
	支援対象経費	Hotel Sasayama Premiumの運営体制構築費、モデル物件の開業費																			
<p>4-2-5 特定政策課題解決の寄与度</p>	<p>城下町等の歴史地区再生の先進モデル地区として、人口減少、少子高齢化、空き家・空き店舗の増加、商店街の衰退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、町並みの保全等の複合的な課題群に対して創造的な解決を提供する。</p>																				

<p>4-3 項目</p>	<p>その他の地区</p>																			
<p>4-3-1 具体的な政策課題の内容</p>	<p>人口減少、少子高齢化、空き家の増加、商店街の衰退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、町並みの保全、耕作放棄地の増加、里山の荒廃、獣害等の複合的な課題群</p>																			
<p>4-3-2 目標</p>	<table border="1" data-bbox="438 1352 1361 1968"> <thead> <tr> <th></th> <th>これまでの実績</th> <th>2018目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日置の里</td> <td>・庄屋(主屋と4つの蔵)を改修して、創作料理、スイーツ、小物等の複合店舗を開業</td> <td>・食文化、在来作物を基本テーマに、新たに5店舗を開業</td> </tr> <tr> <td>宿場町・福住</td> <td>・町家等を改修して、レストラン、ガラス工房、ゲストハウス等7店舗が開業 ※H25 国交省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域</td> <td>・クラフトを基本テーマに、新たに5店舗を開業 ※ボザータ・ジャパンの一翼を形成</td> </tr> <tr> <td>今田エコタウン</td> <td>・里山再生、自然エネルギー利用、コミュニティ交通システム構築、交流拠点整備等を内容とする「今田エコステーション」構想を策定 ※H25 国交省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域</td> <td>・今田エコステーションの開業 ・今田薬師温泉「ぬくもりの郷」との連携によるバイオマスエネルギー利用、コミュニティ交通システムの整備 ・焼き物の里を象徴する交流拠点の整備</td> </tr> <tr> <td>原</td> <td>・都市農村交流の拠点「里山セミナーハウス」が消失</td> <td>・新たな拠点施設の整備 ・里山体験プログラムの整備</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td>・順次、事業化</td> </tr> </tbody> </table>			これまでの実績	2018目標	日置の里	・庄屋(主屋と4つの蔵)を改修して、創作料理、スイーツ、小物等の複合店舗を開業	・食文化、在来作物を基本テーマに、新たに5店舗を開業	宿場町・福住	・町家等を改修して、レストラン、ガラス工房、ゲストハウス等7店舗が開業 ※H25 国交省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域	・クラフトを基本テーマに、新たに5店舗を開業 ※ボザータ・ジャパンの一翼を形成	今田エコタウン	・里山再生、自然エネルギー利用、コミュニティ交通システム構築、交流拠点整備等を内容とする「今田エコステーション」構想を策定 ※H25 国交省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域	・今田エコステーションの開業 ・今田薬師温泉「ぬくもりの郷」との連携によるバイオマスエネルギー利用、コミュニティ交通システムの整備 ・焼き物の里を象徴する交流拠点の整備	原	・都市農村交流の拠点「里山セミナーハウス」が消失	・新たな拠点施設の整備 ・里山体験プログラムの整備	その他	-	・順次、事業化
	これまでの実績	2018目標																		
日置の里	・庄屋(主屋と4つの蔵)を改修して、創作料理、スイーツ、小物等の複合店舗を開業	・食文化、在来作物を基本テーマに、新たに5店舗を開業																		
宿場町・福住	・町家等を改修して、レストラン、ガラス工房、ゲストハウス等7店舗が開業 ※H25 国交省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域	・クラフトを基本テーマに、新たに5店舗を開業 ※ボザータ・ジャパンの一翼を形成																		
今田エコタウン	・里山再生、自然エネルギー利用、コミュニティ交通システム構築、交流拠点整備等を内容とする「今田エコステーション」構想を策定 ※H25 国交省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域	・今田エコステーションの開業 ・今田薬師温泉「ぬくもりの郷」との連携によるバイオマスエネルギー利用、コミュニティ交通システムの整備 ・焼き物の里を象徴する交流拠点の整備																		
原	・都市農村交流の拠点「里山セミナーハウス」が消失	・新たな拠点施設の整備 ・里山体験プログラムの整備																		
その他	-	・順次、事業化																		

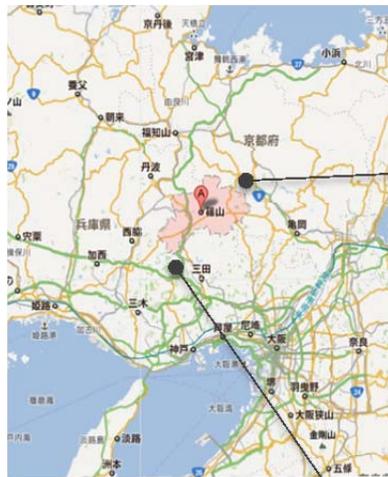
4-3-3 具体的な政策課題解決に資する解決策・取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家（町家等）の活用、6次産業、着地型観光等の一体的な事業展開について中間支援を実施 ※ 空き家の借上げ、資金調達、改修工事、事業者マッチング、ホテル事業の立上げと経営（企画、広報、総務、経理等） ※ 利用用途：宿泊、レストラン、カフェ、工房、加工所 等 																				
4-3-4 活用事業	<p>①②④：（4-1-4に同じ）</p> <p>③ 連動施策（※）を活用した事業（例：特定地域再生事業費補助金等）</p> <p>■特定地域再生計画推進事業</p> <table border="1" data-bbox="443 645 1356 981"> <tr> <td rowspan="4">事業の概要</td> <td>事業主体</td> <td>一般社団法人ノオト</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>4,800千円(平成26年度)</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>空き家・空き地活用、6次産業、着地型観光等の一体的な事業展開</td> </tr> <tr> <td>実施期間</td> <td>平成26年度～30年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">活用する支援措置の概要</td> <td>所管府省の名称</td> <td>内閣府</td> </tr> <tr> <td>支援措置の名称</td> <td>特定地域再生事業費補助金</td> </tr> <tr> <td>支援措置の期間</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>補助金等の額</td> <td>2,400千円(平成26年度)</td> </tr> <tr> <td>支援対象経費</td> <td>空き家調査費、事業計画策定費</td> </tr> </table> <p>◎連動の考え方と効果（4-1-4に同じ）</p>	事業の概要	事業主体	一般社団法人ノオト	事業費	4,800千円(平成26年度)	事業内容	空き家・空き地活用、6次産業、着地型観光等の一体的な事業展開	実施期間	平成26年度～30年度	活用する支援措置の概要	所管府省の名称	内閣府	支援措置の名称	特定地域再生事業費補助金	支援措置の期間	平成26年度	補助金等の額	2,400千円(平成26年度)	支援対象経費	空き家調査費、事業計画策定費
事業の概要	事業主体		一般社団法人ノオト																		
	事業費		4,800千円(平成26年度)																		
	事業内容		空き家・空き地活用、6次産業、着地型観光等の一体的な事業展開																		
	実施期間	平成26年度～30年度																			
活用する支援措置の概要	所管府省の名称	内閣府																			
	支援措置の名称	特定地域再生事業費補助金																			
	支援措置の期間	平成26年度																			
	補助金等の額	2,400千円(平成26年度)																			
	支援対象経費	空き家調査費、事業計画策定費																			
4-3-5 特定政策課題解決の寄与度	<p>人口減少、少子高齢化、空き家の増加、商店街の衰退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、町並みの保全、耕作放棄地の増加、里山の荒廃、獣害等の複合的な課題群に対して創造的な解決を提供する。</p>																				

5 評価項目に対する内容	
5-1 国策への寄与	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域や農山漁村に共通した地域課題群（人口減少、少子高齢化、空き家の増加、商店街の衰退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、町並みの保全、耕作放棄地の増加、里山の荒廃、獣害等）の一体的・総合的な解決手法を提供する。 ・ 地域の未利用資源を「古民家等の歴史的建築物」「食文化」「生活文化（祭、行事、伝統工芸等）」であると捉え、これらを一体的に再生することが地域コミュニティ再生につながることを具体的に明示する。
5-2 取組の先駆性・モデル性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「複数の政策の連携によって地域再生を実現する」という組立てではなく、「特定のコミュニティ圏域において、空き家活用をして、複数の政策が渾然一体となった事業を展開する」という組立てになっている。 ・ こうした創造的な取り組みが「人の行き交い」（観光～移住）を誘発し、地域課題の総合的な解決につながっている。 ※ 例）集落丸山では、オーベルジュ整備に伴い、Uターン、耕作放棄地の活用、里山の再生等が実現

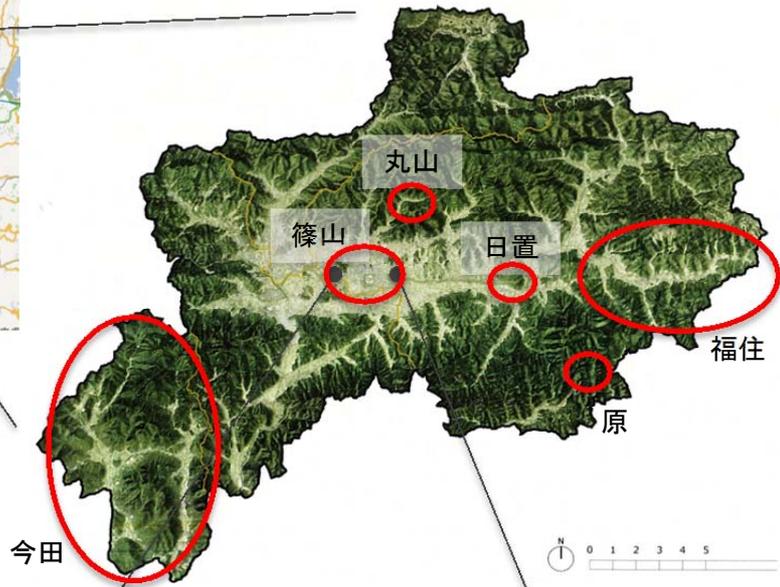
5-3 多様な主体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業は、コミュニティ再生を主眼としており、これまでも地域団体（自治会、NPO等）と連携して実施してきた。 ※ 例）集落丸山は、集落NPOと当社がLLPを組織して共同経営 ・ 本事業には、地域の設計事務所、工務店、農家、農産品加工所、料理人、パティシエ、工芸作家、旅行業者等が関わっている。事業規模を拡大することで、内発型産業の創出、創造人材の育成を目指したい。 ・ 当社が事務局を務める「ポザーダ・ジャパン推進協議会」（現在は兵庫県域）、「創造都市ネットワーク日本」（CCNJ、全国組織）等の活動を通じて、中山間地域や農山漁村に位置する全国の自治体、NPO等と連携するとともに、人材、ノウハウを流動化させる考えである。
5-4 熟度	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの活動実績から、各地区において、複数の空き家所有者から活用依頼（無償提供）の申し出を受けている。地域団体とも関係性を構築しており、円滑に事業展開できると考えている。 ・ 円滑に事業資金を獲得できるよう、ポザーダ・ジャパン推進協議会に地域の信用金庫の参画を得ている。 [REDACTED]
5-5 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hotel Sasayama Premiumの空間デザイン、ブランディング、海外への情報発信について、プロダクトデザイナー喜多俊之氏の協力が得られることになった。

6 活用する規制の特例措置の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年12月、国家戦略特区に「歴史的建築物の活用」が位置づけられ、古民家等に「建築基準法第3条1項3号（適用除外）」が適用されることになった。一般建築の基準では活用が困難であった古民家等について、専門委員会で審査する別の道筋を用意するもので、兵庫県においては全国に先駆けてその制度設計を進めている。 ・ これまでは、現行制度のなかで古民家等の再生を進めていたが、建築基準法の規制により活用を断念せざるを得ない物件、伝統建築の意匠を壊さざるを得ない案件が多数あった。今後は、古民家等の活用が容易になるとともに、空間をより魅力的に表現できると考えている。 ・ また、平成26年5月、国家戦略特区に「関西圏」が指定され、「旅館業法の特例」が適用されることになった。これに伴い、篠山城下町等で整備が認められなかった「町家の一棟貸し」等の宿泊施設の整備が可能となった。 ・ 当社は、特区制度に基づく特定事業を実施する事業者として、既に「関西圏国家戦略特別区域会議兵庫地区協議会」に参画しており、歴史地区の再生やポザーダ・ジャパン事業に関する特定事業を全国に先駆けて展開できると考えている。 	

8 対象地域



篠山市位置図



平成 26 年度特定地域再生計画推進事業の内容説明書

1 事業名	
創造農村推進事業 <small>そうぞうのうそんすいしんじぎょう</small>	
2 事業主体の名称	
一般社団法人ノオト <small>いっぽんしゃだんほうじんのおと</small>	
3 内容	
3-1 目的	歴史地区（集落、城下町等）の再生により、内発型産業の創出、創造人材の誘致・育成を図り、地域再生のエンジンとなる「クリエイティブ・コア」を市内各地に形成していく。
3-2 対象事業内容	<p>◎集落丸山</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年に、空き家 3 戸を改修して、宿泊棟（3 棟）とレストランを整備。オーベルジュ「集落丸山」を開業した。 平成 26 年度は、残る空き家 3 戸と昨年用途廃止になった水道施設を対象として、「集落丸山第 2 ステージ」の整備計画を検討する。 ※現時点では、長期滞在施設（里山暮らし体験シェアハウス）、農産物加工所（里山特産工房）、獣害対策研究所（野生動物との共生研究、猿追い体験ツアー、猪鹿ジビエ教室など）としての活用を想定している。 ※空き家の完全活用、耕作放棄地の完全解消、里山の農園化（果樹、薬草、山菜など）等により、限界集落再生のモデル地区としての完成を図る。 ※谷筋のコミュニティ交通の整備にもつながる「集落丸山送迎バス」の運行についても検討を進める。 また、平成 27 年度に改修工事を行う「XXXXXXXXXX」の建物調査、設計を行う。 <p>◎篠山城下町</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 21～25 年度に、城下町内の空き家を再生活用して、カフェ、ギャラリー、工房など 12 店舗の開業を実現した。また、当社は、篠山市所有の歴史文化施設（篠山城大書院、歴史美術館、王地山陶器所等 6 館）の指定管理も行っている。 平成 25 年秋に、国家戦略特区に「歴史的建築物の活用」が位置づけられ、平成 26 年 5 月に「関西圏」が特区指定されたことから、旅館業法の特例により、町家等を「一棟貸しの宿泊施設」等として活用することが可能となった。 これを受け、平成 26 年度は、城下町を「ひとつのホテル」に見立てて、観光事業、ブライダル事業等を展開する「Hotel Sasayama Premium」の事業計画の策定とモデル物件の開業を行う。 具体的には、今後の広域事業展開も含めた組織体制の検討、予約管理システム・Web サイトの整備などホテル運営体制の構築を行う。 また、国交省の社会資本整備総合交付金（建物改修に充当）と連動して、モデル物件の設計、内装・厨房設備等工事、家具・備品購入等を行う。 地区住民のコミュニティ交通の整備にもつながる「城下町巡回バス」の運行についても検討を進める。

◎その他の地区

- ・平成 21～25 年度に、その他の地区においても、空き家を再生活用し、カフェ、ギャラリー、工房などの開業を実現している。
※当社が、空き家の借上げ、改修、事業者マッチング等の中間支援活動を実施
- ・平成 26 年度は、それぞれの地区の特性に応じて、空き家・空き地、農産物、工芸品等の地域資源を一体的に活用した事業を展開するための空き家調査、事業計画検討等を行う。
- ・これ以外の地区においても、地域団体と連携して、順次、事業化に取り組む。

	これまでの実績	平成 26 年度事業
日置の里	・庄屋(主屋と4つの蔵)を改修して、創作料理、フィーツ、小物等の複合店舗を開業	・空き家調査、事業計画検討 ※テーマ:食文化
宿場町・福住	・町家等を改修して、レストラン、ガラス工房、ゲストハウス等7店舗が開業 ※H25 国土交通省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域	・空き家調査、事業計画検討 ※テーマ:クラフト、宿場
今田エコタウン	・里山再生、自然エネルギー利用、コミュニティ交通システム構築、交流拠点整備等を内容とする「今田エコステーション」構想を策定 ※H25 国土交通省「小さな拠点づくりモニター調査」実施区域	・今田エコステーション事業計画の検討
天空農園	・都市農村交流の拠点「里山セミナーハウス」が消失	・交流施設整備計画の検討

3-3
独自性

- ・「複数の政策の連携によって地域再生を図る」のではなく、「集落や小学校区といったコミュニティ圏域において、空き家を活用して、複数の政策が渾然一体となった事業を展開」する戦略である。
 - ・こうした創造的な取り組みが「人の行き交い」(観光～移住)を誘発し、地域課題の総合的な解決につながっていく。
- 例) 集落丸山では、オーベルジュ整備に伴い、Uターン、耕作放棄地の活用、里山の再生等が実現

3-4
必要性等

- ・これまでの5年間の活動から、「空き家」を「地域課題」と捉えて施策を講じるのではなく、「空き家」を「地域資源」と捉えて、そこにあった「食文化」「生活文化(祭、行事、伝統工芸等)」とともに再生することが、そこにしかない唯一無二の「なりわいと暮らし」の再生につながり、光を放ち、「人の行き交い」(観光～移住)を生む、ということが分かった。
- ・言い換えると、「人の行き交い」を生む装置として、集落や城下町といった「歴史地区」に、宿泊施設、長期滞在施設、サテライトオフィス、住宅のほか、レストラン、農産品加工所、工房等を備えていく。
- ・そして、篠山市内の各地に、創造人材の集積する「歴史地区」を配置することで、篠山市全体の地域再生を実現していく。
- ・さらに、他都市の「歴史地区」ともネットワークすることで広域生活圈・広域観光圏を形成し、圏域全体の再生を実現していく。

